

■取り巻く環境の変化



近江 秀味*

「団塊の世代」が大量に定年退職を迎え労働人口の減少が始まる、いわゆる「2007年問題」が目前に迫っている。少子高齢化という長いスパンでの問題や、公共事業削減による海外市場開拓指向を踏まえ、建設業界が早急に取り組まねばならない課題の一つは、人材確保や人材配置の選択と集中、そして教育や伝承といった人的資源の効率的活用方法の確立ともいべき新たな生産体制の仕組み作りである。受注体制に関していえば、入札契約制度の見直しが進み「公共工事の品質確保の促進に関する法律」（品確法）の成立を受けて、従来の価格一辺倒の入札制度から品質や技術力と価格を総合的に評価して落札者が決定される「総合評価型入札制度」への本格的な移行が始まった。技術力が目に見える形で審査・評価されるということは、保有技術のさらなる強化や差別化技術の開発成功如何が、今後企業にとっては死活問題になっていくであろう。

一方でこの数ヶ月、ニュースが伝えるキーワードとして「偽装」や「ねつ造」などの言葉が毎日のように登場し世間を騒がせている。耐震構造偽装事件では長年築き上げた信頼が一瞬で消滅してしまう現実を見せつけられた。同じような「もの造り」に携わる者にとって、コンプライアンスの徹底はもとより、設計・施工における品質管理について、今まで以上に細心の注意と確実なチェック体制が必要である。

このように建設業界を取り巻く環境は、「人材」「技術」「品質」といった切り口ごとに今日大きな変曲点を迎えている。人材の育成や技術の伝承は、マニュアル本の引渡しで済まされるような一朝一夕の代物ではない。効率化やコストダウンを目指してのアウトソーシングは空洞化を生み、立ち止って内製化に戻ろうとしたときには埋め戻せない

空洞によって阻まれた。無論すべての業務や作業がそうとは言いきれないが、設計分野においても施工分野においても、本来中身を理解したうえでアウトソーシングだったものが、いつのまにかブラックボックス化し、後戻りができないような状況に陥ったのである。そこにも技術の適確な継承や維持は見えにくい。入札制度も変わりこの先さらなるスピードと実力・即戦力の両輪が求められる時代がやってくる。保有技術を強化・向上させることはもちろん、新しい技術を熟成させそれらの伝承をどう実現していくかが喫緊の重要課題となる。

「取り巻く環境の変化」は、もちろんPC業界にとっても例外ではない。PC技術—コンクリートの強さを活用し弱きを助けるというその原理は、人類の発明品の中でももっとも優れた構造、システムの一つであるといわれる。わが国におけるPC技術は、この半世紀、主に橋梁を軸にして目覚ましい発展を遂げてきた。諸外国からの技術導入を始めた黎明期、高度経済成長時代における量産期を経て、今日では鋼との複合構造を始めPC技術を駆使した新工法や新技術によって施工された橋梁が、日本から世界へ向けて情報発信され注目されるに至っている。それは諸先輩方の、そしてPC技術に携わってきた多くの技術者達の地道な努力・研鑽とたゆまぬ挑戦が結実したものであり、その灯を絶やすことなく次世代へつないでいかななくてはならない。その確実な伝達を含め、取り巻く環境の変化に対応していくためにPC技術者のさらなる育成と確保は不可欠なことでありと位置づけ、プレストレストコンクリート技術協会としても、英知と豊富な経験をもった技術者集団である会員各位の協力をもとに積極的に取り組んで行かねばならないと肝に銘ずる次第である。

* Hidemi OHMI：本協会理事 大成建設(株) 国際支店 役員工事長

プレストレストコンクリート技術協会 販売図書 申込書

申込者名 住 所 〒
氏 名

- ① 個人正会員番号
- ② 法人正会員名
- ③ 法人賛助会員名

①～③のうち、いずれにもご記入のない方は非会員価格になります。

図 書 名	会員特価	非会員価格	送 料 (一冊当たり)	申込部数 (部)	備 考
第 29 回 PC 技術講習会テキスト プレストレストコンクリートの歩みと 21 世紀の展望	5 000	6 000	500		
第 30 回 PC 技術講習会テキスト プレストレストコンクリートの新たな発展－ 21 世紀－	5 000	6 000	500		
第 31 回 PC 技術講習会テキスト プレストレストコンクリート技術の適用拡大と世界の動向	5 000	6 000	500		
第 32 回 PC 技術講習会テキスト プレストレストコンクリート構造物の新たな動向	5 000	6 000	500		
第 34 回 PC 技術講習会テキスト PC 技術の進歩とその応用	5 000	6 000	500		
プレストレストコンクリート技術試験講習会資料 (平成 17 年度)	3 500	3 500	0		
第 2 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集	6 000	7 200	450		
第 3 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集	8 000	9 600	500		
第 4 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集	10 000	12 000	500		
第 7 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集	10 000	12 000	500		
第 8 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集	10 000	12 000	600		
第 9 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集	10 000	12 000	600		
第 10 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集	10 000	12 000	600		
第 12 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集	10 000	12 000	600		
第 13 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集	10 000	12 000	600		
第 14 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集	10 000	12 000	600		
'02 fib コンgress 論文集 Vol. I～II (英文概要)	10 000	12 000	協会負担		
'02 fib コンgress 論文集 Vol. III～VIII (英文全文)	30 000	36 000	協会負担		
フレッシュマンのための PC 講座	3 000	3 600	400		
付着が拓く PC 構造の近未来－構造性能評価における鋼材付着の役割－	3 000	4 000	500		
PC 定着工法 2000 年版	4 000	4 800	400		
PC 橋架設工法 2002 年版	4 000	4 800	400		
National Report (The First fib Congress 2002 - Osaka JAPAN) (英・和文 併記)	4 500	5 400	500		
国際プロジェクト研究セミナー 講演資料	3 000	3 600	500		
PC 橋脚の耐震設計ガイドライン	3 000	3 600	500		
規準セミナーテキスト (平成 12 年 11 月) ・ PC 斜張橋・エクストラードズド橋設計施工規準 (案) ・ PC 吊床版橋設計施工規準 (案) ・ PC 橋の耐久性向上マニュアル	6 000	7 200	600		
プレテンションウェブ橋設計施工ガイドライン (案)	4 000	5 000	500		
高強度鉄筋 PPC 構造設計指針	4 000	5 000	400		
PC グラウトの設計施工指針	3 000	3 600	500		新刊
協会誌「プレストレストコンクリート」	2 000*	2 400	150		在庫品に限る *40 巻から
外ケーブル構造・プレキャストセグメント工法設計施工規準	4 000	4 725	500		新刊
複合橋設計施工規準	6 000	6 825	500		新刊
貯水用円筒形 PC タンク設計施工規準	3 500	4 200	500		新刊
合 計					

上記のとおり代金を添えて申し込みます。

平成 年 月 日

注：前金が原則です。送金方法は、現金書留が迅速確実です。ご送金と同時に本申込書もお送りください。

郵便振替の場合は、口座番号 00180-2-538811, 加入者名 社団法人プレストレストコンクリート技術協会です。
なおホームページ (Http://www.jpcea.or.jp) の刊行物案内にはここに記入のない書籍もございますのでご高覧下さい。

社団法人 プレストレストコンクリート技術協会
〒 162-0821 東京都新宿区津久戸町 4-6

TEL 03 (3260) 2521
FAX 03 (3235) 3370